

インテルからのPQS受賞について

新日鉱グループ傘下の株式会社日鉱マテリアルズ(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:岡田昌徳)は、このたび、インテルコーポレーション(本社:米国カリフォルニア州サンタクララ)より、PQS(プリファード・クオリティ・サプライヤー)賞を受賞しました。これは、日鉱マテリアルズがインテルに供給している製品(スパッタリング・ターゲット)とサービスが、インテルの業績に大きく貢献したことを認められたものです。当社は、同様に受賞した他の28社と共に、2003年3月26日にバーリングラム(米国カリフォルニア州)で行われた祝賀式において表彰されました。

本受賞に関する両社のコメントは以下の通りです。

- インテルコーポレーション Fab Materials Operation Director ジム・ハリソン氏
「日鉱マテリアルズは一貫して技術を革新し、我々インテルに画期的な素材を供給し続けてきました。日鉱マテリアルズは、価格と品質の継続的な改善を通じて、彼らの取り組みがインテルの成功に貢献したことを示したのです。我々は、日鉱マテリアルズが今回のPQS賞に十二分に値することを祝福し、さらに、今後幾年にもわたってその優れた活動が続くことを楽しみにしています」
- 日鉱マテリアルズ 社長兼最高経営責任者 岡田昌徳
「PQS賞は、高品質なスパッタリングターゲットとサービスをインテル社に提供する我々にとって、一つの荣誉です。今回の受賞により、様々なご要望に対する当社の取り組みをご評価頂いたと同時に、今後も一層良いものにしていくようお願いいただいていると考えています。我々は、当社事業のあらゆる分野において、総合的にお客様にご満足いただけるよう全力を尽くします」

PQS賞について

PQS賞は、インテルのSQCI(サプライヤ・コンティニューアス・クオリティ・インブルーヴメント)活動の一環として授与されるもので、この活動は、サプライヤが優れた製品を継続的に改善しながら提供することを手助けするものです。受賞の基準は、価格、品質、能力、納期、技術、回答の迅速さについての実績及び能力の査定値が、自己申告カードにおいてそれぞれ目標値の80%以上であることです。供給者はまた、挑戦的な改善計画と品質体系評価を実行し達成しなくてはなりません。

インテルについて

世界最大の半導体メーカーであるインテル コーポレーションはパソコン・ネットワーク / コミュニケーション製品の世界的なメーカーでもあります。インテルに関する情報は、www.intel.co.jpで入手できます。

日鉱マテリアルズについて

日鉱マテリアルズは、新日鉱ホールディングスのグループ会社で、高純度金属や基板を用いる電子機器・通信機器の分野の業界で指導的立場にあります。日鉱マテリアルズは、電子材料の指導的供給者として、半導体・表示材・データ格納機器用各種ターゲット、化合物半導体及びプリント配線板用回路材料を幅広く供給しており、製造拠点を日米に、また、販売拠点を世界各地に展開しています。また、新日鉱ホールディングスグループは石油、金属、電子材料の主要3分野において世界的に事業を手がけています。